

Q. 佐与谷産廃処分場の許可申請に対する市の対応は？

A. 県知事に再度申し入れる



宮田 好夫

ここを聞きました

- 鳥獣被害防止について
- 産業廃棄物最終処分場について

宮田 佐与谷川上流に産廃処分場を計画した業者は、平成26年9月22日に産業廃棄物処理施設設置許可申請書を岡山県に提出している。県は法に基づき審査しており、高梁市にも意見照会を行っているが、どのような意見を提出したのか。

市長 住民の生活が脅かされる恐れのある施設の建設には、反対であるとの意見を提出している。

宮田 下流住民は1万400名分の反対署名と、意見書を提出している。仮に建設許可が出たならば、法廷で争う決意を固めている。市にも取り組みの強化を求める。
市長 改めて、知事に申し入れをする。

野猿の対策について
宮田 臥牛山の猿は、市が昭和30

年から餌づけし、臥牛山自然動物園として開園したが、平成3年末に閉園した。この頃から猿害が広範囲に発生するようになっていくが、猿の生息数はどれくらいか。
教育次長 教育委員会管理の臥牛山に生息する猿は、本群が約140頭、本群から分派した猿が約40頭、辻巻群が約60頭である。
産業経済部長 農林課が担当している猿は約300頭前後である。

宮田 野猿による農作物への被害が拡大している。以前は相当数捕獲した実績もある。個体数の調整が必要ではないか。
教育次長 保護管理計画の中で対応していく。また、猿の監視員をふやすなど被害対策を強化していく計画である。

Q. CCCの図書館の指定管理の実績と公共施設としての安定性・継続性について

A. 従来の業務に加えて、これからの図書館には、空間の演出力や企画力、人を集める魅力が必要と考える



大森 一生

ここを聞きました

- 高梁市新総合計画の後期基本計画における基本的方向性と経済構造分析について
- 新中央図書館を核とする駅前複合施設の運営と周辺施設整備におけるその意義と経済振興について

駅前複合施設と指定管理について
大森 指定管理における複合施設（公共施設）の安定した経営（コストを意識した経営）利益を優先した経営と公共サービスの充実（福祉の充実・無料サービスの増はコストアップになる）はトレード・オフの関係である。「ゆ・ら・ら」での経験で学んだことを踏まえて新中央図書館・複合施設の指定管理について聞く。

市長 基本協定締結の際には、その部分をしっかりと協議していく。それがこれまでで、一番できていなかった点かもしれないので、しっかりとやりたい。

大森 駅前再開発をどのような地域再生や文化の拠点性、地域創生、新たな創造につなげていくのか。その戦略、仕掛けを聞く。

市長 観光客も含めて街の中心へ人が集まるように考えている。それぞれの地域の特性を生かしたまちづくりをしていきたい。

後期基本計画の基本的方向性と経済構造分析について
大森 大幅な人口減少は避けられない。地域の自立・持続可能な社会の構築にはそれぞれの地域の特性を生かした高梁版コンパクトシティ（希望ある縮小戦略）、ダイバーシティの構築が必要。それにはまず地域の経済構造分析と独自の経済成長戦略が必要ではないか。それが地方創生、地域の自立につながるのではないのか。

市長 十分考慮しながら、しっかりとした方向性を出して行きたい。

Q. 業者を特定して指定管理、おかしくないか？

A. 政策、管理運営の面から特定させていただく



宮田 公人

ここを聞きました

- 総合計画と市長マニフェストについて
- 図書館を核とした複合施設の建設をめぐる議論のあり方について

宮田 『高梁市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例』をどう解釈しているのか。

政策監 一般的に公募とするというのが本市の手続のあり方というふうに理解している。

宮田 この条例には、「指定管理者を指定しようとするときは、特別な場合を除き公募するものとする

○高梁市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例（抜粋）
（公募）

第2条 市長は、指定管理者を指定しようとするときは、特別な場合を除き公募するものとする。

第4条 市長は、前条の規定による申請があったときは、次の各号のいずれにも該当するものうちから指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定しなければならない。

なお一層の市民への説明責任が求められています。

Q. 駅前複合施設（図書館）建設は市民合意がされないまま進められている

A. 説明不足があったかもしれないが、進めていく



妹尾 直言

ここを聞きました

- 市長の政治姿勢について

妹尾 なぜ図書館の建設位置について、建設費等、十分な説明もないうまま一足飛びに駅前図書館としたのか。

教育次長 建設費の比較はしていないが、人が集まりやすい等、総合的に判断して駅前を決めた。

妹尾 CCCとの関係はどのようなにして始まったのか。

政策監 平成25年12月に名前は言えないがある人を通じて紹介があり、平成26年4月に社長が来られて提案をいただいた。

妹尾 指定管理に出す場合、今までは公募、審査（審査委員会）、決定という手順を踏んできたが、今回はなぜCCC1社だけで進めているのか。行政手続きに問題があるのではないか。

（回答無し）

妹尾 指定管理料、年間1億5千万円を市民一人あたりで計算すると年間4500円となる。全国平均では1500円だが、市民負担を強いる図書館の民営化と理解する。

妹尾 現在進められている駅前複合施設（図書館）は高梁市にふさわしくない計画だ。

市長 消滅自治体にならないために必要だ。

妹尾 「ゆ・ら・ら」の補助金返還には政治責任があるのではないのか。

政策監 政治責任はないと考えている。

妹尾 市長のスピード違反事件について市民への説明、謝罪は十分できているのか。
市長 十分だと考えている。